

## 2013 年度 入学試験問題

# 日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の史料を読み、下記の設問に答えなさい。問1・問3、問7～問9、問11・問13は、マーク解答用紙にマークしなさい。問2、問4～問6、問10・問12は、記述解答用紙に答えなさい。(30点)

A 今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり。前太政大臣の第三の娘、一家にして三后を立つるは未だ嘗て有らず・・・太閤<sup>①</sup>、下官を招き呼びて云く、「和歌を讀まむと欲す。必ず和すべし。」者<sup>てまう</sup>・・・「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたることも無しと思へば」。

(『小右記』)

B コノ後三条位ノ御時、・・・ノ記録所トテハジメテヲカレタリケルハ、諸国七道ノ所領ノ宣旨・官符<sup>②</sup>モナクテ公田ヲカスムル事、一天四海ノ巨害ナリトキコシメシツメテアリケルハ、スナハチ宇治殿ノ時、一ノ所ノ御領御領トノミ云テ、庄園諸国ニミチテノツトメタヘガタシナド云テ、キコシメシモチタリケルニコソ。

(『愚管抄』)

C 六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、花族も榮耀も面をむかへ肩をならぶる人なし。されば入道相国のこじうと平大納言時忠卿ののたまひけるは、「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし。」とぞのたまひける・・・

日本秋津嶋は纔に六十六箇国、平家知行の国卅余箇国、既に半国にこえたり。

(『平家物語』)

D 三品、家人らを簾下に招き、・・・曰く、皆心を一にして、奉るべし。是最後の詞なり。故右大將軍、朝敵を征罰し、関東を草創してより以降、官位と云ひ、俸禄と云ひ、<sup>⑦</sup>其の恩既に山岳よりも高く、溟渤よりも深し、報謝の志浅からん乎。而るに今逆臣の讒に依りて、非義の綸旨を下さる。<sup>⑧</sup>

(『吾妻鏡』)

問1 史料Aに述べられているように、下線部①の「前太政大臣」は、自らの娘を皇后や皇太子妃につけることで、天皇の外戚として権勢をふるった。下記の組み合わせのうち、この「前太政大臣」を外祖父とする天皇の組み合わせとして、正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 後一条天皇・後朱雀天皇
- b 円融天皇・後冷泉天皇
- c 三条天皇・後一条天皇
- d 一条天皇・後朱雀天皇
- e 花山天皇・後一条天皇

問2 史料Aは、ある貴族が残した日記である。そこには、朝廷の儀式やその作法が詳しく記されている。史料Aにおける下線部①の「前太政大臣」も同様の日記を残しているが、その日記を何というか、漢字で答えなさい。

問3 下線部②の後三条天皇は、史料Bが述べる荘園整理をはじめとして、政治の刷新をはかった。これに関して述べる次の文のうち、誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 藤原氏を外戚としない後三条天皇は、摂関家に不満をもつ中級貴族を結集し、大江匡房らを登用した。
- b この荘園整理によって没収された荘園は、その大部分がそのまま天皇家領荘園群に編入され、八条院領・長講堂領が形成される基礎となった。
- c この荘園整理では、荘園所有者に証拠書類の提出がもとめられ、朝廷の機関である記録所が、書類不備の有無や荘園設置時期を基準に照らして審査した。
- d 後三条天皇は、荘園の増加という現状をふまえて、臨時雑役である造内裏役を、各国内の荘園・公領を問わず一律に賦課した。
- e 後三条天皇の親政期とは対照的に、鳥羽院政期には、院庁下文や院宣によって荘園が認可された。このような背景から、院政期には、膨大な荘園群が形成された。

問4 空欄  に入る語を漢字で答えなさい。

問5 下線部③の「官符」について、60字以内で説明しなさい。なお、説明においては、次の語句を全て使わなければならない。

太政官 荘園領主 官物 不輸の権

問6 史料Bにおける下線部④の「宇治殿」とは誰か。その氏名を漢字で答えなさい。

問7 空欄  に入る語を次から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 受領
- b 地頭
- c 守護
- d 本所
- e 領家
- f 郡司

問8 下線部⑤に関して述べる次の文のうち、誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 平氏一門は、知行国のほか、多くの荘園も有し、一族の子弟は高位高官にっていた。
- b 知行国主自身は国司とはならず、多くは自分の近親者や従者を国司とし、その国からの収益を自己のものとした。上皇は、知行国の実質的な配分権をにぎっていた。
- c 知行国制度の目的は、貴族の俸禄支給が有名無実化したため、その経済的収益を確保することにあった。
- d 上級貴族だけでなく、上皇自身や大寺社が知行国主となることもあった。
- e 知行国制度は鎌倉時代にも残り、源頼朝や得宗専制期の北条氏も広い地域において知行国主となった。

問9 史料Cは、軍記物の傑作と呼ばれ、琵琶法師によって平曲として語られることで、人びとに親しまれた。軍記物に関して述べる次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 『平家物語』が成立した鎌倉時代の軍記物として、ほかに、『保元物語』・『平治物語』がある。
- b 『平家物語』と同様に軍記物とされるものには、『榮花（榮華）物語』・『義経記』・『曾我物語』がある。
- c 最古の軍記物は、『陸奥話記』である。
- d 『平家物語』より後世の軍記物である『太平記』も、「太平記読み」とよばれる講釈師によって民衆に普及していった。

問10 史料Dにみられる発言をしたとされる下線部⑥の「二品」とは誰か。その氏名を漢字で答えなさい。

問11 下線部⑦に記されている「故右大將軍」に関連する事績について述べる次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 「故右大將軍」は、北陸各地の武士団を従えて京都への攻勢を強め、平氏一門に都落ちを余儀なくさせた。
- b 「故右大將軍」は、後白河法皇から、宣旨により、東海・東山両道の支配権を認められた。
- c 「故右大將軍」は、大軍を率いて奥州藤原氏を滅ぼし、陸奥国・出羽国を支配下においた。
- d 「故右大將軍」は、親幕府派の公卿九条兼実の尽力により、後白河法皇から、征夷大將軍に任命された。
- e 「故右大將軍」は、島山重忠・比企能員を滅ぼした。

問12 下線部⑧は、ある者を追討するよう、諸国の武士に命令が出されたことを指している。この命令は、誰の追討を命じるものであったか、その氏名を漢字で答えなさい。

問13 史料B・史料Dなどの歴史書について述べた次の文のうち、誤っているものを2つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 平安時代の歴史書『増鏡』は、仮名を使った和文体で、摂関家を中心とした歴史を記述している。
- b 『愚管抄』の作者慈円は、五摂家の一つ九条家の出身であり、天台座主の要職にあった。
- c 『愚管抄』は、公家の没落と武家の台頭を、道理の理念と仏教思想で理論づけている。
- d 鎌倉時代の『吾妻鏡』は、幕府の歴史を編年体で編んだものである。
- e 室町時代の歴史書『梅松論』は、源平の争乱から後醍醐天皇までの歴史を公家の立場から記したものである。
- f 室町時代の『神皇正統記』は、天皇の歴史をたどりながら南朝の正統性を訴えたものである。

II 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。  
問2～問8はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

A 19世紀の欧米諸国は、国外の市場や原料の確保を目指して、アジアへの進出を本格化させ、圧倒的な軍事力を背景に、日本に開国を迫った。<sup>①</sup>1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは軍艦4隻を率いて浦賀へ来航し、大統領  の国書を差し出して開国を求めた。しかし、幕府は、対策のないまま、ペリーの強硬な態度に押されて国書を受け取り、翌年の回答を約束して帰国させた。翌年、ペリーは再び来航し、条約締結を強硬に迫ったため、幕府はその威力に屈して日米和親条約を結び、ついで、イギリス・ロシア・オランダとも類似の内容の条約を結んだ。この対外的な危機は、新たな政治の展開と国防充実の契機となった。<sup>②</sup>

B 1858年、井伊直弼は  天皇の勅許を得ることなく、日米修好通商条約の調印を断行し、幕府はついで、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも同様の条約を結んだ。これ以降、貿易は急速に拡大し、国内の産業と流通に大きな影響を与えた。<sup>③</sup>また、幕府は金の大量流出を阻止するために金貨の品位を落とし、 を鑄造して対処した。しかしこれは急激な物価上昇をもたらし、下級武士や民衆の生活を圧迫したため、貿易への反感が強まり、幕政への批判や攘夷運動を激化させ、外国人を襲う事件が相次いだ。<sup>④</sup>

C 井伊直弼暗殺後に幕政を担当した老中  は、朝廷と幕府の融和をはかり、政局を安定させようとする  の政策をとり、その象徴として  天皇の妹和宮を将軍家茂の妻に迎えた。しかし、これは尊王攘夷論者から非難され、 は1862年、水戸脱藩士らに襲われて失脚した。これを、 の変という。しかし、 運動は薩摩藩や土佐藩などの雄藩の支持を受けながら続けられた。薩摩藩では、島津斉彬の死後、島津久光が藩政の実権を握り、勅使  とともに江戸に赴き、幕政の改革を求めた。幕府は、薩摩藩の意向を受け入れて、幕政の改革を進めた。<sup>⑤</sup>

D しかし、長州藩の尊王攘夷派は急進派の公家三条実美らと結んで朝廷を動かし、攘夷決行を幕府に迫った。そして、幕府がやむなく攘夷決行を諸藩に命じると、長州藩はそれを口実に、下関の海峡を通過した外国船を砲撃した。これに対して、薩摩・会津の両藩は、朝廷内の  派と結んで朝廷を動かし、長州藩勢力と三条実美ら急進派の公家を京都から追放した。<sup>⑦</sup>長州藩の尊攘派は、京都での勢力を回復するため、藩兵を率いて攻めのぼり、幕府側の会津・桑名・薩摩などの兵と戦ったが、敗北した。これを、 の変という。

問1 文中の空欄  ~  に入るもっとも適切な語・人名を答えなさい。

問2 下線部①に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a アヘン戦争で勝利したイギリスは、清国と南京条約を結び、香港・上海などを開港させるとともに、領事裁判権や片務的最恵国待遇などの特権を獲得した。
- b アヘン戦争の結果を受け、幕府は薪水給与令を発令し、漂着した外国船に燃料・食糧を与えることにした。
- c オランダ国王が将軍家慶に開国を勧告した時も、アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルが浦賀に来航して通商を要求した時も、幕府はこれを拒絶した。

問3 下線部②に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 老中阿部正弘がとった挙国一致策は、朝廷の権威を高め、外交政策について諸大名や幕臣らに広く意見を求め、諸大名が幕政に介入するきっかけを与えた。
- b 幕府代官の江川太郎左衛門は伊豆韮山に反射炉を築造し、その後、佐賀藩と薩摩藩でも反射炉が築かれた。
- c 幕府は、江戸湾に台場を築き、諸藩に大船建造を許可するとともに、長崎に洋式海軍育成のための海軍伝習所を開いた。



問4 下線部③に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 初代アメリカ総領事ハリスは、通商条約の締結を強く迫ったため、井伊直弼は京都に赴き、条約調印の勅許を求めたが、勅許を得ることはできなかった。
- b 13代将軍家定の将軍継嗣問題が起こったとき、井伊直弼と薩摩藩主島津斉彬は徳川慶福を推し、慶福を将軍の跡継ぎに決定した。
- c 安政の大獄により、越前藩主松平慶永らは隠居・謹慎を命じられ、越前藩士の橋本左内や長州藩士の吉田松陰らは刑死した。

問5 下線部④に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 開港場の貿易商人や彼らと結びつく地方の在郷商人は、輸出品を都市の間屋を通さずに開港場に直送したので、間屋などが大きな打撃を受けた。
- b 最大の輸出産業となった製糸業ではマニファクチュア化が進んだため、絹織物業が急速に発展した。
- c 輸入品には毛織物・綿織物などの繊維製品のほか、軍需品・艦船などの工業製品が多く、貿易は当初から輸入超過となっていた。

問6 下線部⑤に関連する事件を年代順に並べているものをa～dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ① 高杉晋作らが品川御殿山に建築中のイギリス仮公使館を襲撃して全焼させた。
- ② 江戸で薩摩藩浪士により、ハリスの通訳ヒュースケンが斬殺された。
- ③ 神奈川宿近くの生麦村で、薩摩藩士がイギリス人を殺傷した。
- ④ 水戸藩浪士が江戸高輪東禅寺のイギリス公使館を襲撃した。

- a ④→②→①→③
- b ④→②→③→①
- c ②→④→①→③
- d ②→④→③→①

問7 下線部⑥に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 幕府は、将軍徳川家茂を補佐する役として徳川（一橋）慶喜を将軍後見職に任命し、松平慶永を政事総裁職に任命した。
- b 幕府は、各大名に藩領防衛をさせるために、参勤交代制を緩和して、江戸出府を3年に1回としたが、江戸に藩邸を構え人質として妻子の江戸居住を義務づけた。
- c 幕府は、京都の治安維持にあたる役職として、京都所司代の下に京都守護職を新設して、会津藩主松平容保を任命した。

問8 下線部⑦と同じ年に起こった事件すべての組み合わせとして正しいものをa～dの中から1つ選んでマークしなさい。

- ① 福岡藩の平野国臣らが沢宣嘉を擁し、但馬国の農民層に働きかけて、生野の代官所を襲撃した事件
- ② 水戸藩尊攘過激派の天狗党が、筑波山で挙兵した事件
- ③ 新撰組が京都三条河原町の池田屋に集合した尊攘派を急襲し、20数名を殺傷した事件
- ④ 公家の中山忠光を擁して挙兵した天誅組が、大和国五条の代官所を襲撃した事件

- a ①と②と④
- b ①と④
- c ②と④
- d ②と③と④

Ⅲ 次のA～Fは、『ゾルゲの見た日本』の抜粋である（一部改変）。これを読んで、設問に答えなさい。問1・問2・問5・問6・問9・問10は記述解答用紙に答えなさい。問3・問4・問7・問8はマーク解答用紙にマークしなさい。（40点）

A というのは、最近年間に政治的理由で暗殺された非常に多数の優れた人物の有する重要性がたとえどんなに大きくとも、その暗殺目的は、ある事件または状態に関し個人的な責任を問われた個々の優秀な人物の除去であった。昨年の夏、当時の林陸相の右腕といわれた [ 1 ] が現役陸軍中佐 [ 2 ] に殺害された非常にセンセーショナルな事件も、過激な少壮将校分子の指導者 [ 3 ] 解任の首謀者と誤認された人物に対する個人的テロの性格を有している。これに反して、今回のテロ行為は犠牲者がこれまでにない広範囲から選ばれている面からも、また暗殺とその後の叛乱に関係した軍人の数とからも、全く新しい異常な意義を有している。日本の文官内閣は一挙にして葬られ、同時に日本特有の「元老」制も崩れ去ることとなった。今回、暗殺計画者の激情を煽り立てたのは個々の人間ではなく、ある制度、政治的経済的原理の代表者であったことが、以前に比べて明瞭に現われている。この制度原理をして新しいそれに席を譲らせるため、これに打撃を与え壊滅させなければならぬというわけである。叛徒の現内閣に対する攻撃が [ 4 ] に集中したのも決して偶然ではない。失敗に帰した [ 5 ] 首相の暗殺は原理的には重要性が少ない。 [ 4 ] はいろいろの政府で10回も指導的な役割を演じ、日本の内閣制度の典型的な代表者であった。彼は議会主義の発達と早くから密接な関係をもつと同時に、叛徒から特に憎悪されている政党政治の代表者でもあった。その上、彼は日本における近代的財政の頭脳、最も明晰な最高代表者でもあった。彼は叛徒の間では日本金融資本のシンボルと目され、その法令の下に国軍の要求や農民の社会的欲求が阻止されていると信じられていた。

B しかし、日本歴代の政府は決して日本の国家的政治機構の唯一の決定的政治力ではなかった。内閣は今までいつも、常に背後にあってこれを左右する元老たち、すなわち側近にいて天皇に信任の厚い少数の顧問によって作られたり廃せられたりしていた。換言すると、今日成文律によって国法上の根拠を与えられていない団体、

すなわち元老たちのただ一人の生き残りである [ 6 ] によって内閣は存廃を左右されていたのである。新日本の建設者明治天皇の最も親密な協力者たちの間から出た [ 6 ] は他のすでに他界した「元老」たちとともに日本の政治権力の真の中枢となっていた。(中略) 叛徒にとっては元老たちの勢力を除くこと、すなわち元老の首領である 87 歳の老公を除くことが最大の目標であったのである。が、この企ては挫折した。しかし [ 6 ] が今後も発展させようと思っていた「元老」制度において自己の後継者に選んでいた最も大切な人物、すなわち「元老の新世代」の首領と目されていた 78 歳の [ 7 ] は兇刃に倒れた。その代表者個人を斃すことで文官内閣と元老を除くことは叛乱軍のプログラム遂行の前提にすぎなかった。

- C 最終的には皇室と日本の政治に対する政党や大資本主義の勢力を除去するため、彼らは「元老」の代りに軍の顧問を天皇の側近に置くことを希望した。その上大きい私有財産の国有化を必要とした。この計画を日本的に表現すると、百万円以上の財産はすべて天皇に返上せよ、という要求に集約される。最後に彼らは、日本の外交上の情勢に即応して国軍を従来の規模を超えて強化せよ、との要求を掲げる。

(中略)

これらすべての叛乱軍の思考過程と目標、いな個々の計画や個々の犠牲者さえも東京におけるこの事件によって初めてこと新しく、また人の意表をついて外界に知られるようになったものでは決してない。1931 年以來、陸軍部内の過激分子の目標と計画は公々然と言明されていた。(中略) これはすでに大部分、1934 ないし 35 年の間に陸軍省から公式の宣伝文書として発表されていた。<sup>③</sup>

- D 1935 年夏、政治的理由で、陸軍省の建物内で [ 1 ] を殺害した [ 2 ] に対する 1936 年 2 月初めの東京軍事法廷の有名な裁判では、公々然と叛乱の目標と犠牲者の名があげられていた。[ 2 ] は [ 1 ] 殺害後 48 時間以内に極秘裡かつ当然あるべき最後の判決を下されることもなく、また彼自身唯一の伝統的な結論に従って自決することも欲しなかった。最高の軍当局は上官の殺害者に公開の裁判を許した。

④

E 陸軍部内におけるこの過激な政治的潮流の最も深い原因は、日本の農民と都市の小市民の社会的貧窮である。⑤ 多年来、日本の工業と金融業は好景気を謳歌していたが、同じときに上述二階層の間には忍びよる危機が緊迫した段階に達していた。日本の将校団のほとんど50%は地方と密接な関係を持った階層の出身である（中流または富裕な農民および地主の息子たち）。他の大きい率を占めているものは都市の小市民階級の出身である。したがってこれらの階層の窮状は特に将校階級に集中するに相違ないことは明らかである。さらに兵士のほとんど90%は地方出身である。これら農民には政治的機関がなく、⑥ 二大政党も単に形式的に関心を有するにすぎないとなると、まず最初に軍がこれらの地方と都市の人民層のますます激しさを加える緊張の伝声管となり機関とならざるを得なかったわけである。この結びつきに叛乱の最大の意味が存在している。

F 叛乱は失敗した。天皇は今まで通り 6 に、新しい政府と彼自身の後継者と考えられていて今度殺害された 7 の後任者を諮問した。新政府は従来と同じく、閣僚に政党を若干加えた文官内閣である。工業界や金融機関は最初の驚駭から立ち直り、利潤の多い好況を持続した。外観上すべてが旧通りである。

それにしても多くの変化があった。元老の地位は根底から動揺し、その役割は明らかに小さくなり、これで叛乱青年将校たちの目標の一つは部分的に達成された。

(中略) 8 内閣の構成、特にそのプログラムはもはや、6 の作品ではなく、陸軍が今までほとんどなかったほど強力に新内閣に対してその意志をおしつけた。政党、元老、官僚および軍の間の勢力争いはなお続いているが、叛乱後こそ陸軍は著しく優勢に立つに至った。このことがいかに驚嘆すべきことであるにせよ、陸軍がこの叛乱に対する責任を認めたにもかかわらず、その政府に対する政治上の役割は断然強化された。⑦

問1 文中の「叛乱」はすべて同じ出来事を意味する。これは何と呼ばれているか答えなさい。

問2 空欄 1 ~ 8 に入るもっとも適切な氏名を漢字で答えなさい。

問3 下線部①について、その例としてもっとも適切な人物を、次の中から1人選んでマークしなさい。

- a 井上準之助      b 星亨      c 尾崎行雄      d 原敬

問4 下線部②に関連し、次のうち1934～5年の中国情勢として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 第一次国共合作の成立  
b 第二次国共合作の宣言  
c 蒋介石が北伐を開始

問5 下線部③について、1934年に発表された文書の名称を答えなさい。

問6 下線部③に関連し、国家社会主義の傾向をもった、当時最大の無産政党の名称を答えなさい。

問7 下線部④の裁判で焦点のひとつとなったのは、統帥権の干犯である。統帥権に関する次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a ワシントン海軍軍縮条約について、統帥権干犯との批判はなされなかった。  
b 統帥権は、天皇大権の一つであるが、憲法に明文の根拠規定はなかった。  
c 第一次護憲運動の契機となった、帷幄上奏による2個師団増設要求は、第2次大隈内閣において実現した。

問8 下線部⑤について、これに関する次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 公共事業による雇用創出が行われた。  
b 綿製品の輸出についてソーシャル・ダンピングと国際的に非難された。  
c 金解禁の断行がこの好況の契機となった。

問9 下線部⑥の二大政党は、立憲政友会となにか。その名称を答えなさい。

問10 下線部⑦に軍部の影響力が「強化」されたとあるが、どのような制度変更を指すか。影響力の根拠とあわせ、100字以内（句読点を含む）で具体的に説明しなさい。